

図 4 部品の選択画面例

回路図エディタ上の抵抗を配置したい場所でマウスを左クリックすることにより配置される。配置モードを終了する場合は、マウス右クリックのメニューから[End Mode]を選択する。◎部品の向きを90度変更する場合は、部品全体を選択して右クリックのメニューから[Rotate]をクリックする(図5参照)。

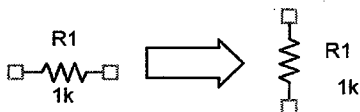




図 5 部品の回転

(4) 入力信号源（電源）の配置と数値の設定

[Place part]ボタンをクリックし、Add library→source→VSIN→OKでエディタ上に正弦波入力信号源“Vsin”を配置する。このシンボルのVOFF欄（オフセット）やVAMPL欄（振幅電圧(最大値)）、FREQ欄（周波数 Hz）をクリックし、値を設定し閉じ終了する。なお、m（ミリ）、u（μ）、n（ナノ）、p（ピコ）、meg（メガ）である。

(5) 各素子間の結線について

右辺のツールパレットのワイヤボタン（記号：）をクリックし、エディタ上で素子間をマウスで移動し結線する（斜線は不可）。マウス右クリックしend wireをクリックすれば結線モードを終了する。

(6) GND の配置

ツールパレットのGNDボタンをクリックする。Place groundが開くので、Add library